



## 「農の暮らし」番外編 フリースクール～心を育てる現場から～

自然スクールトエックは、震災被災地支援の応援米に 50 俵を抛出し協力してくださいました。そのご縁から、今回、「心のそばにある学校」の現場取材しました。(高崎 渉)



### NPO法人 自然スクールトエック (徳島県阿南市)

自然スクールトエックは、四国の東端に位置する阿南市の農村地帯にあり、4～6 歳の子どもを受け入れる「トエック幼児フリースクール」と、小学生を受け入れる「トエック自由な学校」を運営しています。このスクールでは、一般的な保育園や小学校と違い、1 時間目、2 時間目といった時間の区切りがありません。子どもたちは、毎朝、自分で決めた「やりたいこと」に 1 日かけて主体的に取り組みます。教えてくれる人や場所も大人たちに相談しながら自ら探して決めることで、学び方を学びます。もちろん、乱暴や危ないことは止められますが、「心の自由」は誰からも裁かれず、お互いに主張を持ち、相手の声に耳を傾け、自分の声にもじっくり耳を澄ますことができる場所だと言えます。



代表の伊勢達郎さん(52)

### たくましい子どもたち

手造りの木の門をくぐると、味のある木造平屋の校舎が 2 つ現れました。そこには 4 歳～12 歳の子どもたちの元気な姿があり、見知らぬ訪問者にも全く物怖じせ

ず話しかけてくるのが印象的です。どの子もたくましくて身のこなしが軽く、幼い



ながらも目には意志の光が宿っています。スクールを一通りまわったあとで、代表の伊勢さんに「社会的で活発な子が多いですね」と話したところ、意外な答えが返ってきました。

「そうですね。ですが、社会的な子がよいとも考えていません。じっとしている子も、周りには見えにくいけど、何かに取り組んでいるんです。それとは逆に、一見すると社会的だけど孤独な子もいますし。それは大人でも同じですよ。」  
あらかじめ用意した価値観で子どもに教育を施すのではなく、あくまで、その子が自身の感覚を信じて自分の世界を深めるサポートに徹するという伊勢さんの姿勢を垣間見る一幕でした。

### 教育委員会を説得することも

トエックは小学校の認可を受けていないため、小学校の出席日数として扱うには、地元の公立小学校の校長の許可が必要になります。

生徒の受入を決めるために、伊勢さん自らが入学の了承を得るために校長や教育委員会の担当者の説得にあたることも少なくありません。

はじめのうちは苦労していた交渉も、最近では複数の学校で許可を得た前例があるため、比較的すんなりと進められるとのこと。また、卒業生たちも、学力やルールなど様々な点で普通の学校になじめるのかという周囲の懸念をよそにたくましく順応していき、スクールで培った探

究心を失わないまま有名大学に進学する子ども珍しくありません。

## 自給自足の給食

校舎のまわりには、契約している約5000坪の田んぼと畑を持つ「トエック農園」があ



り、敷地内で取れた無農薬の野菜が子どもたちの給食として出ます。栽培は学校のスタッフが行っており、収穫時には子どもたちも手伝います。

## 子どもを預けて親が変わる

ここに子どもを通わせた大人たちにも大きな変化があります。子どもの心の自由を尊重するスタッフの姿勢から自らを省み、子どもの声に耳を傾け、ひいては他の人の声にも耳を傾け、自分の心の声にも耳を傾けるようになります。ここは、子どもを預ける場所に留まらず、子育てを通して家族全員が人と真剣に向き合う場所でもあります。

そんなやりとりの中で出てくる悩みや相談には、スクールのスタッフが真剣に向き合い、スタッフと両親が一緒になって、子育てに取り組みます。そして、活動前のミーティングをすぐに終わらせる一方で、終わってからの振り返りを大切にするのが特徴的でした。そこでは、出来事の共有だけでなく、個々人の感じた気持ちの部分に重点を置き、十分に時間をとって丁寧な話し合いがなされます。

## 大切なのは場を作る「人」

トエックには、有給スタッフ、ボランティアスタッフなど、たくさんの大人たちがおり、どのスタッフも元気な子どもたちに負けないくらい元気です。そして、

その対応の随所に、子どもの成長にどう寄り添うかという探求心と情熱が感じられました。

トエックを設立した26年前に比べると、たくさんのフリースクールや農的生活を実践するコミュニティが日本中に生まれ、そして消えている現状に触れつつ、子どもたちと一緒に走り回るスタッフを眺めながら伊勢さんが言いました。

「結局、大切なのは、場を作る人の在り方なんです。自分でいうのもなんですが、うちのスタッフはみな勉強熱心で本当によくやってくれています。これからも、そんな場を作る人を増やしていけたらと考えています」

大手メディアにはほとんど登場しないフリースクールですが、実際に行ってみて、子どもたちの力を引き出す場作りの巧みさに驚きの連続でした。そして、それがシステムやノウハウではなく、スタッフ一人ひとりの人間力であることがよくわかりました。

みなさんも、子育ての際にはフリースクールをひとつの選択肢として考えてみてはいかがでしょうか。学校の枠にはまっていない子どもたちが、意外な才能を発揮するかもしれませんよ。(高崎)



**短期のキャンプやセミナーも開講中！**

**NPO法人自然スクールトエック**

徳島県阿南市柳島町南高川原 92

HP: <http://www.ne.jp/asahi/outdoor/toec/>

Mail: [toec@asahi-net.email.ne.jp](mailto:toec@asahi-net.email.ne.jp)

TEL: 088-626-3436(事務所は水曜定休)

書籍「のびやかに自分になる 1~3」「ヒーリング

レクリエーションのすすめ」以上 伊勢達郎著

「泣いていいよ」中村真由美著